

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月18日

事業所名 ちゃんぷるハウス

保護者等数(児童数)11 回収数 6 割合 54.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか		○			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	○				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか		○			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		やった事が無い。	今後、保護者間が交流を図れるよう、親子参加のプログラムや保護者会を企画する予定。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
14 個人情報に十分注意しているか	○					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		○			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	○				
	18 事業所の支援に満足しているか	○				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月18日

事業所名 ちゃんぶるハウス

保護者等数(児童数) 3 回収数 1 割合 33.3 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	○					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	○					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	○					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	○					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○					
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	○					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	○					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている				○		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか			○		日々の活動や様子等も う少し詳しく知りたい。	送迎時又はモニタリング時等に口頭若しくは個人記録の開示にて状況報告を行う他、電話、メール等で営業時間外においても、保護者との連絡を図り、情報共有を図るよう努める。
適切な支援の 提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている		○				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		○				
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	○					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	○					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	○					
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	○					
	非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている		○			
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている			○				
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	○					
	23 事業所の支援に満足している	○					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。